



## = 感染予防対策を実施し皆様の御出をお待ちしています =

(秋田県プレミアム宿泊券利用加盟施設)

パンデミック・クラスター・ロックダウン・オーバーシュート・ソーシャルディスタンス・PCR検査・オンライン飲み会・電子印鑑・声を出さないプレー、応援等々・・・新型コロナウィルスの感染拡大により聞き慣れない言葉が次々と現れました。当館も行政の指導に6月18日までの間、新型コロナ止のため県外の方の利用自粛措置マスク・手洗い・消毒を徹底する密接の排除を念頭に入口2箇所に適切に窓の開閉に努め風を入れて



より4月22日からウィルス感染拡大防を致しました。以後、と共に密閉・密集・消毒液を設置し適宜きました。



上記の共通券を当店でご利用いただけます  
有効期限：令和3年1月31日

4月中旬には、オンライン授業やテレワークを可能にすべく遠隔対応機器の整備に努め、学生さんの長期滞在やテレワークとしての利用に対応できる環境を整えました。5月下旬には、秋田県プレミアム宿泊券利用加盟施設に登録。7月下旬にはオール五城目応援商品券取扱店、観光庁の共通クーポン券取扱店に登録しました。また、今夏には秋田県宿泊施設創生支援事業を活用し換気設備工事を実施します。

## ほっこり温かみのある農家民宿に泊まりませんか？

ちよだ五城目交流館は、約520年の歴史ある五城目朝市が開かれる朝市通りに面し、敷地350坪建物100坪の築100年の古民家をそのまま利用する農家民宿です。

和室の高い天井や幅広い縁側など懐かしい感じの空間が体感できます。お一人様大人(中学生以上)は素泊まり3,000円(税込)、小学生までは2,000円(税込)、幼児は無料で自炊もできます。

スーパーやコンビニも近く、また、周辺にはお持ち帰りや配達するお店も多く食事を楽しむことができます。定員は6人で館内は和室が4室(12畳・10畳・8畳2部屋)とキッチンや交流カフェを完備し、Wi-Fiが利用できます。



お気軽にお問い合わせください。

## 姉妹都市ちよだ五城目交流館

〒018-1706 南秋田郡五城目町字下夕町190番地 TEL.090-1619-2114(小林)

7月22日秋田魁新報社に掲載された広告から

編集・発行 姉妹都市ちよだ五城目交流館 代表 小林敏夫 秋田県五城目町字下夕町190番地

電話 018-852-2023 090-1619-2114 3115830901@jcom.home.ne.jp 携帯 minanaro3776@docomo.ne.jp

宿泊や各種会合  
・サークル活動  
会場等にどうぞ！ご利用ください。皆様の御出を心からお待ち申し上げます。

新型コロナウィルス感染拡大防止に歯止めが掛からず、社会全体が自粛ムードとなっています。加えて豪雨や日照不足等の異常気象・頻発する地震など常に非常事態を想定した生活を余儀なくされています。我々もご自愛されますよう、そして早期に終息しますよう祈念しています。（代表記）

## 新たな生活様式でのサービスの提供



朝市での屋外カフェ



整備中の庭園

縁がありまして本年度より事務局を担当することになりました齊藤大蔵です。本館はこれまで、首都圏に在住する役員がゴールデンウィーク、お盆およびお正月を中心として開館していました。利用者側からみれば、多少なりとも不便があったものと思います。

今回、時代は平成から令和に、さらに昨今の新型コロナウィルスの感染の猛威に影響されたこともあり、新たな生活様式に対応した設備、運営しております。具体的には休日と朝市が重なる日に開館していることに加え、感染症の対策として入口や玄関でのエタノールによる手指の消毒器具の設置、密閉空間の排除を図っています。その中で、本年度の朝市プラスは4月5日に開催した以降、5月、6月と中断しましたが、7月12日から再開し、賑わいを取り戻しています。五城目町民だけでなく、大館市や盛岡市からも「五城目の朝市を見に来た」という方々がいることは、歴史ある朝市の魅力でしょう。事務局としても大きな励みになります。また、一定の経済効果があるものと考えます。交流館の現状の運営に満足せず、今後の進化を図りたいと考えています。

さて、ご利用された方はご存知と思いますが、特に朝市に来られた方々がこゆっくり休憩できる場として着々と整備を進めています。朝市は午前中の開催ですが、特に夏本番の炎天下では涼しさが求められます。昔ながらの豊の大広間や日本庭園の縁側をご提供していますので、自由にご利用下さい。今後、歴史ある朝市を支え、地域に根ざしたこと味違う新たな取り組みを企画しています。五城目町に在住並びに町外の皆さまを含め、築100年のたたずまいで感染症対策済み、そして非現実空間を体感できる整備も進めていますので、どうぞお気軽に利用頂けると幸いです。

事務局 齊藤大蔵：横手市在住（五城目町岡本出身）



交流館前で朝市



和室大広間



朝市通り

## 歩き始めた！もっと森山を盛り上げ隊(3MO隊)

森山は五城目町のシンボルであるとともに心の支えでもあり、たくさんの魅力を秘めていることから自然環境を保全するための活動を推進し、将来の町民への自然財産を継承することを目的に、民間の有志等が立ち上がり第一歩を踏み出すこととなりました。

6月26日の午後5時30分から当館会議室において、町関係者・町議会・町役場・ふるさと五城目会から11名が出席し顔合わせと初めての話し合いが行われました。地元有志からは「森山登山道の整備に関する現地調査の報告」がなされ、現状や良好点・問題点等が発表されました。

本年は具体的な作業推進計画を作成し、年明けからは登山道の整備・動植物の共生、植樹・登山道のポイント表示板の設置・安全確保のための看板の設置等の作業を推進して行くことを申し合わせました。長期間に渡る作業となり活動資金等も必要なことから、その節には、大勢の皆様のご賛同を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。ちよだ五城目交流館も会議に参加させて頂き全面的に協力していく事を誓った次第です。

(代表記)



第二高地到着



第二高地からの本町の眺め



第一高地の状況



頂上から下ると素晴らしい森林浴コース

## 昭和のわらし！第二回：大石清美の色紙絵展開催中

当館交流カフェ天窓に、昭和の思い出がいっぱい詰まった色紙絵15点を展示中です。朝市でHOT一息一休み：来館され昭和の思い出に浸ってみては如何ですか。アンケートにご協力下さった方には抽選で素敵なプレゼントが贈呈されます。マンジ！入って見てケレ？

(代表記)



### 展示作品リスト（生活は貧しかたけど毎日が楽しかったあの頃）

草の花畠 兄妹で、じゅう ちゅう ぱくかげと弟の花畠の 中を走りあつた。	玉っこ 横からおで親がねば 反則であつたのを横がら出た 小さな子でメモでアカニになつた。	ヒリッコアメ アメで色し と動物をこしらえるあつ やんは不のむに力れだ。た。
タガまわし 手ぬぐひ に棒を立てる中を走りあ そりあつた。	えこかでれへ お母の床屋の バリカはりそれ体力なくて、み せ因で痛かっただえてでーー	ほんほこめんこと歌 いぬがら鳥のまわりをグルグル て最後にぱりへん
かんたら馬 カんたら馬を使 う年は くじら馬の小包がい い。大正は 安定が無い。	みぞ豆 牡牛の瘤もついでね い、ただ大きと瘦ただだけの牛い だたけど、しんにぎんかがよ。	どんじらヒラ 朱ヒニで、 ぬけとどんじらとすくって漸 しいガルを復。ひと連続的。
鉛舟 鉛舟とこしゆ 残りの鉛ひ舟とこしゆで皆 で競争した。オカはけっぱ かっぽ"カぼ" 生えと 間も近いばん舟を産婆さ んが かっぽがはさむでけん	めんけべと 鉛舟競ってもろ。 たばかりの人生をくわいとびりて 「めんけべ」とめんの笑顔で空や ちんぽんたんぽん 沈没と 沈没のが載が無いのとてのよ うを満てて皆であそんだ。	びっきばくだん 田舎ば でちかだびっきさふくらみ して、地獄に投げて爆発。 だ、こちゃん 正井には木の ばりが1キロ、鳥1つはすね しかたにも鳥くわがた。

## ～～～ 暖流・暖流・暖流 ～～～

交流館の古時計



1885年米国イングラハム社製。  
初代総理の伊藤博文内閣が発足した  
年。チクタクチクタク147年休ま  
ず動いた古時計：優しい音色です。  
嬉しいことも悲しいことも皆知つて  
いる古時計が交流館で動いています。

赤い花びら



朝の散歩中に茶  
褐色のヒマワリ  
が咲いていま  
した。初めて目にし  
たので思わずパ  
パチリ！



自宅菜園で  
収穫したキ  
ューリ。下  
から葉っぱ  
が出ている  
ので思わず  
パチリ！



自宅菜園で収  
穫したダイコ  
ン。根っこが  
二本の足に見  
えて苦笑。思  
わずパチリ！



自宅菜園で収  
穫したナス。  
つるのところ  
で2本のナス  
が合体？思わ  
ずパチリ！

(代表記)

### \* 令和2年度年会費納入のお願いと新会員の募集 \*

本館は五城目応援隊を組織し会員に応募を頂いた皆様の年会費等で運営されている民間交流宿泊施設です。  
また、設立主旨に賛同頂ける方（新会員）を常時募集しています。納期は4月1日から翌3月31日です。

年会費は、次の「三つのコース」の中からお選びください。

- ◎Aコース 2,000円 ◎Bコース 5,000円（年一回姉妹都市の特産品をお届けします。）  
◎Sコース 10,000円（年二回姉妹都市の特産品をお届けします。）

また、入会をご希望される皆様には「郵便局備付：払込取扱票」に

- ◎口座記号・番号欄 02280-7-139343 ◎金額欄 上記の希望するコースの金額  
◎加入者名欄 「ちよだ五城目交流館」と、記入のうえお振込を賜りますようお願い申し上げます。

### \* 宿泊や会合等に皆様のご利用をお待ちしております \*

◎宿泊利用 お一人様大人（中学生以上）は素泊まり3,000円（税込）会員は2,500円（税込）  
幼児は無料で自炊も出来ます。

◎施設利用 会合等：お一人200円 奨会：お一人500円（11月～3月：暖房費100円増し）  
＊詳細はホームページやパンフレット又は代表へお問い合わせ下さい。

#### お申込み・お問い合わせ先

◆姉妹都市ちよだ五城目交流館 代表 小林敏夫 土浦市乙戸南1-19-22

○交流館加入電話 018-852-2023（不在転送付－代表）

○加入・FAX 029-842-9496 ○携帯 090-1619-2114

○メール 携帯 minanaro3776@docomo.ne.jp ○P C 3115830901@jcom.home.ne.jp

○HP：秋田花まるグリーン・ツーリズム推進協議会→田舎に泊まる→ちよだ五城目交流館

◆上記の電話・FAX・メールにより、お申込み・お問い合わせ下さい。